

盛岡市プレスリリース
～ひと・まち・未来が輝き世界につながるまち盛岡～

令和 4年10月6日
盛岡市教育委員会
歴史文化課

市政記者クラブ加盟社 各位

企画展「野村胡堂のてがみ」を開催します

盛岡てがみ館では、第66回企画展 野村胡堂生誕140年記念「野村胡堂のてがみ」を開催します。

この企画展では、「銭形平次捕物控」などの作品で知られ、今年生誕140年を迎える作家・野村胡堂の手紙を展示します。

記

- 【日時】 令和4年10月18日（火）から令和5年2月13日（月） 9時～18時
- 【場所】 盛岡てがみ館 展示室（プラザおでって6階）
- 【内容】 野村胡堂に関する資料（手紙など）を展示し、解説パネルで紹介する。なお、野村胡堂と親交のあった生誕140年にあたる金田一京助もあわせて紹介する。
- 【休館日】 毎月第2火曜日（祝日の場合翌日）、年末年始（12月28日～1月3日）
- 【費用】 一般 200円（団体160円） 高校生100円（団体80円） 団体は20名以上中学生以下及び盛岡市内に住所を有する65歳以上の方は無料
- 【主催】 盛岡てがみ館（所管：盛岡市教育委員会）・（公財）盛岡市文化振興事業団
- 【添付資料】 第66回企画展チラシ

【問い合わせ先】

（公財）盛岡市文化振興事業団
盛岡てがみ館
担当：主任学芸員 山崎 円
TEL：019-604-3302



野村胡堂
生誕 140年
記念

盛岡てがみ館 第66回企画展

野村胡堂のてがみ

令和4年

10月18日(火)～

令和5年

2月13日(月)

野村胡堂・あらえびす記念館提供

盛岡てがみ館

MORIOKA MUSEUM OF LETTERS

指定管理者：公益財団法人盛岡市文化振興事業団

〒020-0871

岩手県盛岡市中ノ橋通一丁目1-10

プラザおでって6階

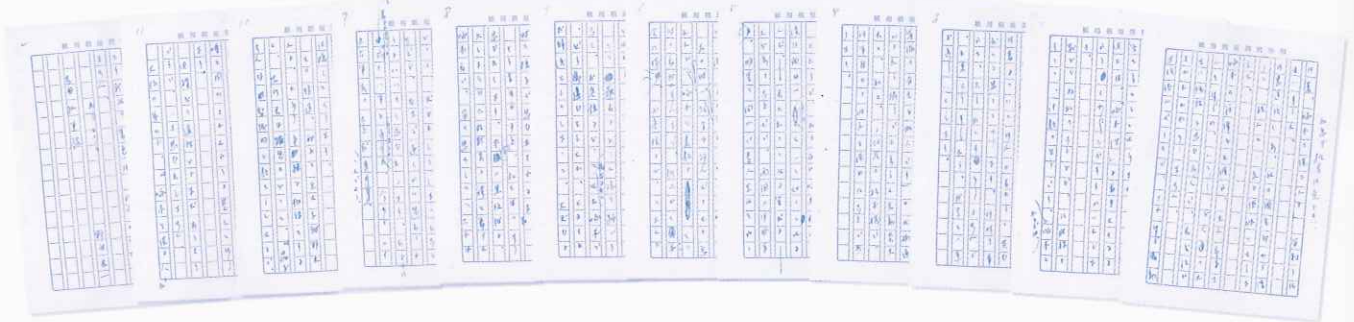
TEL/FAX (019)604-3302

主催 盛岡てがみ館(所管:盛岡市教育委員会)・公益財団法人盛岡市文化振興事業団

- 開館時間 午前9時～午後6時(ただし入館は午後5時30分まで)
- 休館日 毎月第2火曜日、年末年始(12月29日～1月3日)
- 入館料 個人 一般 200円 高校生 100円
団体 一般 160円 高校生 80円(団体料金は20人以上の団体に適用します)
小・中学生及び盛岡市内に住所を有する65歳以上の方は入館料無料
11月3日(木・祝)は文化の日無料開放につき入館料無料

常時公開資料

宮沢賢治や高村光太郎など岩手にゆかりのある人々の手紙や原稿を展示



▲野村胡堂書簡 吉田徳治あて(昭和4年5月26日)

野村胡堂が石川啄木研究者・吉田孤羊(徳治)にあてた手紙。吉田が著した『啄木を繞る人々』を読み、「これほど感動させられた本はありません」とつづっている。

◀野村胡堂書簡

富田小一郎あて(昭和17年3月7日)

野村胡堂が中学時代の恩師・富田小一郎にあてた手紙。あらえびすのペンネームで著した『楽聖物語』が文部省推薦となったことを伝えている。

▲野村胡堂書簡

吉田孤羊あて(昭和33年5月7日)

野村胡堂が石川啄木研究者・吉田孤羊にあてた手紙。白内障の手術後、原稿を書くことなどで不自由している様子をつづっている。

作家・野村胡堂は、新聞人として活躍、昭和6年(1931)には、のちに代表作となる「銭形平次捕物控」をはじめて発表しました。昭和17年(1942)に新聞社を退社すると執筆に専念、昭和32年(1957)に筆をおくまで数多くの作品を生みだしました。また、彼は「あらえびす」のペンネームで音楽評論家としても活躍しました。この展示では、野村胡堂の生誕140年にあわせ、その生涯について紹介します。



のむら ことう
野村 胡堂 明治15年(1882)～昭和38年(1963)

紫波郡大巻村(現在の紫波町)生まれ。本名野村長一。幼い頃から父の蔵書を読んで育つ。明治35年(1902)に岩手県立盛岡中学校を卒業し、第一高等学校をへて東京帝国大学法科大学に入学する。しかし、在学中に父が亡くなったため中退、明治45年(1912)には報知社に政治部記者として入社する。大正3年(1914)、胡堂のペンネームで連載記事を書く。その後も連載小説を新聞に発表、昭和6年(1931)には雑誌「文藝春秋オール讀物號」の創刊号に「銭形平次捕物控」の一作目にあたる「金色の處女」を発表する。執筆活動を続けていたが、眼疾患の悪化により、昭和32年(1957)長年執筆していた「銭形平次捕物控」の連載を終了する。音楽評論家あらえびすとしても著作を残した。

関連イベント

●ふみの日ギャラリートーク(学芸員)

令和4年10月23日(日) 11:00～11:45
お申し込みは令和4年10月10日(月・祝) 10:00から先着順に電話受け付け。
定員8名。入館料が必要。
★当日ご来館の方にはポストカードをプレゼント

●ギャラリートーク(館長)

令和5年1月21日(土) 11:00～11:45
お申し込みは令和5年1月7日(土) 10:00から先着順に電話受け付け。
定員8名。入館料が必要。

公益財団法人盛岡市文化振興事業団からのお知らせ

■盛岡市先人記念館

第66回企画展 南部鑄金研究所に集う人々
令和4年9月17日(土)～11月20日(日)

■石川啄木記念館

第17回企画展 教科書の中の啄木
同時開催 石川啄木と萩原朔太郎
令和4年9月27日(火)～令和5年1月22日(日)

■原敬記念館

第64回企画展 原達一叔父・原敬に期待された才人
令和4年10月22日(土)～令和5年1月15日(日)

盛岡てがみ館

MORIOKA MUSEUM OF LETTERS

指定管理者:公益財団法人盛岡市文化振興事業団

〒020-0871
岩手県盛岡市中ノ橋通一丁目1-10
プラザおでって6階
TEL/FAX (019)604-3302

